

○ 地震其他地異彙報

明治三十一年中地震及び其他ノ地異ニ關シ各地測候所等ヨリ
本會へ報告セルモノ。中其重ナルモノヲ擧クレハ左ノ如シ

● 地震

二月十三日午後十一時五十八分本分ノ南東部ニ稍強キ地震アリ今各地ヨリノ報告ヲ列記スレハ左ノ如シ

○長野測候所報

○秋田測候所報

(電報) 本日(三月十日)午後三時四十八分劇震ノ旨鹿角郡役所ヨリ通知アリ

○佐賀測候所報

(電報) 本日(三四月)午後三時四十八分五十秒強震アリ方向東西時計止マル

○濱田測候所報

四月三日午後四時一分四十秒石見國那賀郡濱田町ニ弱震アリ震動時間二分五十二秒方向東南東ニシテ上下水平兩動一時ニ至リ音響烈シク時計振子止マリ其最大水平動ハ震幅四耗五ヲ示シ上下動ニアリテハ最大震動三耗ニ達シタリ

○中央氣象臺報
四月三日午前六時過甲駿地方ニ強震アリ各地ヨリ本臺ニ達シタル報告左ノ如シ

測候所		日 時	震度	記 記	事
京都	熊谷	三日 午前六時八分十秒	強	戸障子鳴ル	
沼津	甲府	全 全 六時九分四十四秒	全	急、上下動アリ家屋動搖ス	
濱松	全 全 六時十分〇秒	全	全	液體溢出ス	
全 全 六時十分九秒	全	全	全	上 下動アリ	

東京	全	全	六時十分六秒	急
長津名	全	全	六時十分四十秒	家屋動搖ス
横濱	全	全	六時十分五十九秒	上下動アリ
横須賀	全	全	六時十一分廿八秒	戸障子鳴ル
津	全	全	六時十二分二十秒	家屋動搖ス
和歌山	全	全	六時七分〇秒	續震アリ
岐阜	全	全	六時八分三十三秒	緩
名古屋	全	全	六時九分五十八秒	度弱震
松本	全	全	六時十分三十五秒	全方震
和歌山	全	全	六時十三分三十七秒	急、上下動アリ
岐阜	全	全	六時十分五十三秒	家屋動搖ス
名古屋	全	全	六時五分八秒	震動時間長シ
福井	全	全	六時十四分五十秒	上
彦根	全	全	六時八分四十八秒	全上
前橋	全	全	六時十一分〇秒	全上
水戸	全	全	六時十三分二十秒	全上
宇都宮	全	全	全	
福島	全	全	全	

○中央氣象臺報

四月三日午後三時過瀬戸内海近傍ニ強震アリ各地ヨリノ報

告ヲ列記スレハ左ノ如シ

○秋田測候所報

第二十九號 地震其他地異彙報

○沖繩縣報

七月十五日午前二時十分宮古郡砂川間切西里村ニ強震アリ

震動時間三分方向ハ北南ニシテ地平動ナリ

○佐賀縣報

八月十一日
午前一時發

(電報) 午後九時五十八分三秒地震アリ時計止ル震動時長
シ後又二回震動アリ

○沖繩縣報

八月十六日午後十一時三十八分國頭郡名護間切東江村ニ弱

震アリ震動時間凡ソ二秒ニシテ方向ハ北南ナリ性質水平動
ニシテ震動前北ヨリ南ニ向ケ稍鳴動アリ

○嚴原測候所報

八月十日午後九時五十五分一秒嚴原ニ弱震アリ震動時間二
十六秒方向ハ北々東、南々西ニシテ上下動アリ最大水平動
ハ發震第九秒ニ起リ一、四秒ニ付一、○耗最大速度ハ一秒時
間二、三耗最大加速度ハ同一、○耗ナリ

○中央氣象臺報

八月十二日午前八時半頃福岡近傍ニ發シタル強震ハ志摩郡

今宿町附近ニ損害アリ家屋破損自五十戸土地低落又ハ龜裂

夥シキ趣電報アリタリ尙ホ同日以後福岡測候所ノ續震報告

ヲ列記スレハ左ノ如シ

午前	八時三十五分三十四秒	十二日	強	上下動アリ家屋動搖ス
午前	八時四十九分二十秒	全	弱	上下動アリ
午後	十時三十五分十二秒	全	微	全
午後	一時三分十五秒	全	弱	急、上下動アリ家屋動搖ス
午後	七時三十二分十五秒	全	微	上下動アリ、家屋動搖ス
午前	九時五十八分二十四秒	全	全	全
午前	九時五十八分五十二秒	全	全	全
午前	四時四十九分五十二秒	十四日	全	全
午前	五時四十分三十八秒	十五日	全	全
午前	六時二十六分二十秒	全	全	全
午前	七時十三分二十五秒	全	全	全
午前	十一時二十九分十五秒	全	全	全
午前	六時三十八分十八秒	全	全	全
午前	二時二十三分三十秒	全	全	全
午前	五時六分二十五秒	全	全	全
全	五時三十二分二十六秒	全	全	全

○名古屋測候所報

十一月十三日午後
五時三十五分發

○中央氣象臺報

(電報) 強震アリ磁力計器械狂フ二三日欠測ス

十一月十三日午前十一時三十分過キ尾濃附近ニ強震アリ

各地ヨリノ電報ヲ列記スレハ左ノ如シ

測候所

名古屋

日 時

十三日前

時 分 秒

震度

記

松本

全

二二五三〇

全

○徳島測候所報

十一月十八日午後零時四十八分三十秒弱震アリ方向ハ東西

ニシテ震動時間三十一秒最大水平動○、五秒間ニ○、九耗最

大上下動○、六四秒間ニ○、八耗ナリ此地震ハ第三秒時ニ至

リ最大水平動ヲ顯シ其レヨリ第十一秒時ニ至リ極微小ノ南

北水平動アリ更ニ第二十八秒時ニ至リ最大上下動ヲ感シテ

静止セリ

○同上

十二月四日午前一時四十六分二十三秒弱震アリ震動時間二

分十一秒方向東西ニシテ最大水平動○、八秒間ニ一耗八最

大上下動○、六秒間ニ○耗三ナリ性質ハ緩ニシテ主動ハ東

西ノ横動アリ發震時ヨリ第十八秒ニシテ最大動ヲ現シ同時

南北ノ横動(○、八秒間ニ一耗一)アリ更ニ第二十七秒時ニ

至リ同前ノ東西水平動アリ上下動ハ發震ヨリ第四十一秒時ニ

極微二回ヲ感セシノミ

○佐賀縣報

(十二月四日午前
時四十分發)

(電報) 今一時二十五分三十八秒強震アリ震動時間長シ

○中央氣象臺報

十二月四日午前一時四十分過大分附近ニ強震アリ各地ヨリ

ノ報告ヲ列記スレハ左ノ如シ

東京

一、五七〇 全

○宮崎縣報

十二月四日午前二時頃近來稀ナル地震アリ東臼杵郡岡富村字本小路内ニ於テハ土壌處々破壊シ全郡延岡町大字南町内ニ於テハ土壁脱落シ其他處々土壁ノ小破シタルモノ多ク同町大字柳澤町全郡恒富村字新小路字川原町ニ於テハ陶器類ランプ類少シク破損シ延岡町大字元町ニ於テハ屋瓦二間半脱落シタリ

宮崎測候所ノ驗測ニ據レハ發震時ハ四日午前一時四十四分

三秒震動時間凡ソ二分四秒震動ノ方向西北西、東南東ニシテ最大水平動ハ一秒時ニ付九耗八最大上下動ハ〇秒五時ニ付九耗八性質急ナリト此地震ハ同所設置以來著シク大ナルモノニシテ上下動ハ發震時ヨリ二秒五ニ於テ最大ヲ示シ其前後稍々急劇ナリシモ次第ニ衰ヘ十三秒ノ頃再ヒ稍々強ク漸次緩慢トナレリ地平動ハ發震時ヨリ三秒八ニ於テ最大ヲ示シ其前後稍急劇ナリシカ漸次緩慢トナリテ靜止セリ

○濱田測候所報

十二月十三日午後四時四十六分十五秒弱震アリ震動時間五秒上下動ニシテ至テ急劇ナリシ

測候所	日 時	震 度	記 記	事
大分	四 日午前 時 一、四四二六 分 一分	強震 キ度	急、上下動アリ時計止ル	
佐賀	一、三五、三六	弱震 キ度	震動時間長シ	
熊本	一、四九、二七	全	急、上下動アリ家屋動搖ス	
鹿児島	一、四四、〇〇	弱	上、下動アリ時計止ル	
宮崎	一、四五、〇三	全	家屋動搖ス	
福岡	一、四五、二〇	全	急、上下動アリ家屋動搖ス	
多度津	一、四五、二七	全	地鳴リ家屋動搖ス	
高知	一、四五、四〇	全	家屋動搖ス	
吳	一、四六、〇〇	全	震動時間長シ	
赤間關	一、四六、二六	全		
大坂	一、四七、三三	全		
松井	一、四五、五〇	全		
木田	一、四五、二五	全		
長崎	一、四五、二七	全		
岡山	一、四五、四〇	全		
木	一、五〇、一六	全		
浜田	一、五二、〇四	全		
長崎	一、五三、〇四	全		
岡山	一、五三、〇四	全		
木	一、五三、〇四	全		
大分	一、五三、〇四	全		
佐賀	一、五三、〇四	全		
熊本	一、五三、〇四	全		
鹿児島	一、五三、〇四	全		
宮崎	一、五三、〇四	全		
福岡	一、五三、〇四	全		
多度津	一、五三、〇四	全		
高知	一、五三、〇四	全		
吳	一、五三、〇四	全		
赤間關	一、五三、〇四	全		
大坂	一、五三、〇四	全		
松井	一、五三、〇四	全		
木田	一、五三、〇四	全		
長崎	一、五三、〇四	全		
岡山	一、五三、〇四	全		
木	一、五三、〇四	全		
大分	一、五三、〇四	全		
佐賀	一、五三、〇四	全		
熊本	一、五三、〇四	全		
鹿児島	一、五三、〇四	全		
宮崎	一、五三、〇四	全		
福岡	一、五三、〇四	全		
多度津	一、五三、〇四	全		
高知	一、五三、〇四	全		
吳	一、五三、〇四	全		
赤間關	一、五三、〇四	全		
大坂	一、五三、〇四	全		
松井	一、五三、〇四	全		
木田	一、五三、〇四	全		
長崎	一、五三、〇四	全		
岡山	一、五三、〇四	全		
木	一、五三、〇四	全		
大分	一、五三、〇四	全		
佐賀	一、五三、〇四	全		
熊本	一、五三、〇四	全		
鹿児島	一、五三、〇四	全		
宮崎	一、五三、〇四	全		
福岡	一、五三、〇四	全		
多度津	一、五三、〇四	全		
高知	一、五三、〇四	全		
吳	一、五三、〇四	全		
赤間關	一、五三、〇四	全		
大坂	一、五三、〇四	全		
松井	一、五三、〇四	全		
木田	一、五三、〇四	全		
長崎	一、五三、〇四	全		
岡山	一、五三、〇四	全		
木	一、五三、〇四	全		
大分	一、五三、〇四	全		
佐賀	一、五三、〇四	全		
熊本	一、五三、〇四	全		
鹿児島	一、五三、〇四	全		
宮崎	一、五三、〇四	全		
福岡	一、五三、〇四	全		
多度津	一、五三、〇四	全		
高知	一、五三、〇四	全		
吳	一、五三、〇四	全		
赤間關	一、五三、〇四	全		
大坂	一、五三、〇四	全		
松井	一、五三、〇四	全		
木田	一、五三、〇四	全		
長崎	一、五三、〇四	全		
岡山	一、五三、〇四	全		
木	一、五三、〇四	全		
大分	一、五三、〇四	全		
佐賀	一、五三、〇四	全		
熊本	一、五三、〇四	全		
鹿児島	一、五三、〇四	全		
宮崎	一、五三、〇四	全		
福岡	一、五三、〇四	全		
多度津	一、五三、〇四	全		
高知	一、五三、〇四	全		
吳	一、五三、〇四	全		
赤間關	一、五三、〇四	全		
大坂	一、五三、〇四	全		
松井	一、五三、〇四	全		
木田	一、五三、〇四	全		
長崎	一、五三、〇四	全		
岡山	一、五三、〇四	全		
木	一、五三、〇四	全		
大分	一、五三、〇四	全		
佐賀	一、五三、〇四	全		
熊本	一、五三、〇四	全		
鹿児島	一、五三、〇四	全		
宮崎	一、五三、〇四	全		
福岡	一、五三、〇四	全		
多度津	一、五三、〇四	全		
高知	一、五三、〇四	全		
吳	一、五三、〇四	全		
赤間關	一、五三、〇四	全		
大坂	一、五三、〇四	全		
松井	一、五三、〇四	全		
木田	一、五三、〇四	全		
長崎	一、五三、〇四	全		
岡山	一、五三、〇四	全		
木	一、五三、〇四	全		
大分	一、五三、〇四	全		
佐賀	一、五三、〇四	全		
熊本	一、五三、〇四	全		
鹿児島	一、五三、〇四	全		
宮崎	一、五三、〇四	全		
福岡	一、五三、〇四	全		
多度津	一、五三、〇四	全		
高知	一、五三、〇四	全		
吳	一、五三、〇四	全		
赤間關	一、五三、〇四	全		
大坂	一、五三、〇四	全		
松井	一、五三、〇四	全		
木田	一、五三、〇四	全		
長崎	一、五三、〇四	全		
岡山	一、五三、〇四	全		
木	一、五三、〇四	全		
大分	一、五三、〇四	全		
佐賀	一、五三、〇四	全		
熊本	一、五三、〇四	全		
鹿児島	一、五三、〇四	全		
宮崎	一、五三、〇四	全		
福岡	一、五三、〇四	全		
多度津	一、五三、〇四	全		
高知	一、五三、〇四	全		
吳	一、五三、〇四	全		
赤間關	一、五三、〇四	全		
大坂	一、五三、〇四	全		
松井	一、五三、〇四	全		
木田	一、五三、〇四	全		
長崎	一、五三、〇四	全		
岡山	一、五三、〇四	全		
木	一、五三、〇四	全		
大分	一、五三、〇四	全		
佐賀	一、五三、〇四	全		
熊本	一、五三、〇四	全		
鹿児島	一、五三、〇四	全		
宮崎	一、五三、〇四	全		
福岡	一、五三、〇四	全		
多度津	一、五三、〇四	全		
高知	一、五三、〇四	全		
吳	一、五三、〇四	全		
赤間關	一、五三、〇四	全		
大坂	一、五三、〇四	全		
松井	一、五三、〇四	全		
木田	一、五三、〇四	全		
長崎	一、五三、〇四	全		
岡山	一、五三、〇四	全		
木	一、五三、〇四	全		
大分	一、五三、〇四	全		
佐賀	一、五三、〇四	全		
熊本	一、五三、〇四	全		
鹿児島	一、五三、〇四	全		
宮崎	一、五三、〇四	全		
福岡	一、五三、〇四	全		
多度津	一、五三、〇四	全		
高知	一、五三、〇四	全		
吳	一、五三、〇四	全		
赤間關	一、五三、〇四	全		
大坂	一、五三、〇四	全		
松井	一、五三、〇四	全		
木田	一、五三、〇四	全		
長崎	一、五三、〇四	全		
岡山	一、五三、〇四	全		
木	一、五三、〇四	全		
大分	一、五三、〇四	全		
佐賀	一、五三、〇四	全		
熊本	一、五三、〇四	全		
鹿児島	一、五三、〇四	全		
宮崎	一、五三、〇四	全		
福岡	一、五三、〇四	全		
多度津	一、五三、〇四	全		
高知	一、五三、〇四	全		
吳	一、五三、〇四	全		
赤間關	一、五三、〇四	全		
大坂	一、五三、〇四	全		
松井	一、五三、〇四	全		
木田	一、五三、〇四	全		
長崎	一、五三、〇四	全		
岡山	一、五三、〇四	全		
木	一、五三、〇四	全		
大分	一、五三、〇四	全		
佐賀	一、五三、〇四	全		
熊本	一、五三、〇四	全		
鹿児島	一、五三、〇四	全		
宮崎	一、五三、〇四	全		
福岡	一、五三、〇四	全		
多度津	一、五三、〇四	全		
高知	一、五三、〇四	全		
吳	一、五三、〇四	全		
赤間關	一、五三、〇四	全		
大坂	一、五三、〇四	全		
松井	一、五三、〇四	全		
木田	一、五三、〇四	全		
長崎	一、五三、〇四	全		
岡山	一、五三、〇四	全		
木	一、五三、〇四	全		
大分	一、五三、〇四	全		
佐賀	一、五三、〇四	全		
熊本	一、五三、〇四	全		
鹿児島	一、五三、〇四	全		
宮崎	一、五三、〇四	全		
福岡	一、五三、〇四	全		
多度津	一、五三、〇四	全		
高知	一、五三、〇四	全		
吳	一、五三、〇四	全		
赤間關	一、五三、〇四	全		
大坂	一、五三、〇四	全		
松井	一、五三、〇四	全		
木田	一、五三、〇四	全		
長崎	一、五三、〇四	全		
岡山	一、五三、〇四	全		
木	一、五三、〇四	全		
大分	一、五三、〇四	全		
佐賀	一、五三、〇四	全		
熊本	一、五三、〇四	全		
鹿児島	一、五三、〇四	全		
宮崎	一、五三、〇四	全		
福岡	一、五三、〇四	全		
多度津	一、五三、〇四	全		
高知	一、五三、〇四	全		
吳	一、五三、〇四	全		
赤間關	一、五三、〇四	全		
大坂	一、五三、〇四	全		
松井	一、五三、〇四	全		
木田	一、五三、〇四	全		
長崎	一、五三、〇四	全		
岡山	一、五三、〇四	全		
木	一、五三、〇四	全		
大分	一、五三、〇四	全		
佐賀	一、五三、〇四	全		
熊本	一、五三、〇四	全		
鹿児島	一、五三、〇四	全		
宮崎	一、五三、〇四	全		
福岡	一、五三、〇四	全		
多度津	一、五三、〇四	全		
高知	一、五三、〇四	全		
吳	一、五三、〇四	全		
赤間關	一、五三、〇四	全		
大坂	一、五三、〇四	全		
松井	一、五三、〇四	全		
木田	一、五三、〇四	全		
長崎	一、五三、〇四	全		
岡山	一、五三、〇四	全		
木	一、五三、〇四	全		

●山嶽鳴動

○宇都宮測候所報

一月二十四日午後八時頃 一回同夜一時頃 一回山嶽鳴動アリ
其基點ハ詳ナラサルモ尾頭峠ノ附近ニ在ルカ如シ同日ハ朝
來天氣陰曇ニシテ溫暖氣壓ハ下降シタリ鳴動ノ際並ニ其前
後共ニ地震ハナカリシ

●土地陷落

○福井縣報二月廿三日

(摘要) 縣下大飯郡内浦村下地籍ニ於テ客年八月以來地面
ニ變動ヲ生シ小變動今猶ホ止マス其概況ハ左ノ如シ

客年八月初旬以來全十一月中二回十二月中四回地面ニ變
狀ヲ生シ其間小變動アリシト云フ而シテ其變動アルモ音
響其他ノ前兆ナキヲ以テ地方人民ハ其事等アルヲ覺知セ
ス漸ク地面ノ變狀セルヲ見テ驚愕スル程ナリシ此地ハ山
間ニ介在セル部落ニシテ其變狀タル高燥ナル地面變シテ
低窪トナリ或ハ低窪ナル地處々凸起スルアリ又平地ハ龜
裂シ或ハ耕田凸起シテ畑地ト混同スルカ如キ奇觀ヲ呈セ
リ右變動ニ係ル土地反別ハ田畑宅地ヲ合セテ凡六町歩道
路凡四百坪(延長凡十二丁)ニシテ處々崩壊シタルカ爲メ水路ノ流
通ヲ遮斷セル處アリ

印31 ○同上二月廿八日

(摘要) 大飯郡長ヨリノ報告ヲ列記スレハ左ノ加シ

土質 山麓畑地ノ分ハ黒土乾燥質ナリ又田地ノ分ハ黒赤
ノ粘土質ニシテ下層ニ入ルニ從ヒ幾分ノ土ヲ包含シ土量
至テ深ク田地耕耘ノ際ノ如キ土地ニ由リ股間ヲ沒スル處
アリ

地勢 本區ハ元來日本海ノ西北ニ沿ヒ丹後國ト地域ヲ接
ス今回陷落ノ部分ハ山麓ニ沿ヒ田畑ヲ開拓セシモノナレ
ハ從テ高低アリ

本土ノ經歷 古來當陷落ノ部分ヲ總稱シテ「ヌケ」ト稱シ
來レリ其稱號ヨリスルモ年々幾分ノ地異アリシモノ、如
シ近時ハ十八年以前ニ於テ耕地四反步許ヲ潰没セシコト
アリテ其後ハ本年ノ欠壊陷落ヲ最大ナル被害トス
水利 僅ニ小溪流二條アルノミニシテ至テ灌漑ニ不便ヲ
感シ十年間ヲ通シテ平年ノ收穫ヲ得ルコト一二年トス故
ニ乾土ナルコト知ルヘシ

山峯 北ニ字大蛇谷向山ト稱スル一山アリ是ヨリ西南ニ
開ケシ地ニシテ巖石及樹木最尠シ

現況 陷没ノ部分周圍ハ深サ一丈若クハ五六尺ノ潰裂ヲ
以テ之ヲ表シ其地脈顯然タリ而シテ畑地或ハ小林ハ其儘

潰沒セシアリ或ハ現形ヲ存セサルモノアリ田地モ亦甲乙

ノ土地其中央ニ於テ凹形ヲ生シ水ヲ溜ムラアリ或ハ凸起スルアリ甚シキハ甲ノ地乙ノ低地ニ落チテ現形ヲ沒セシモノアリ又ハ全形アルモ東西其高低平均ヲ失シテ將來耕耘ノ方向ヲ失セシムラアリ尤モ斯ノ大部分一面ニ龜裂アリテ實查スルモノ足底異様ノ感アリ就中陷落ノ甚シキ麥畠字岸畑ノ如キハ深サ一丈五六尺アリ

今回潰壊ノ初メハ客年八月ヨリ少シク其徵ヲ呈シ十二月廿四五日頃大潰ヲ來シ終ニ今ニ至レリ其原因ノ如何ハ一モ認ムヘキノ兆ナシ

被害反別ハ既ニ本區耕地ノ大半ニ及ヒ生地ハ僅ニ現形ヲ存スルノミ且水路潰破セシカ爲メ灌漑ノ途絶エタリ

水池ハ隣區鎌倉地籍中字櫻窪ト稱スル地四反歩ヲ借リテ一ノ溜池ヲ造レリ

被害地ノ中字池田ト稱スル處深サ五六丈幅五十間許一昨年ヨリ缺潰シ今日モ猶止マス降雨ノ際土砂ヲ流出スルノミナラス其左方ハ前記ノ下流ニ接シ其沿岸皆今回ノ被害地ナレハ何時池田ノ損處ト合同セシモ計リ難シ

區民ハ斯ノ地異ヲ見テ心中安カラサルハ勿論刻下耕耘及活路ノ方向ニ苦心シ種々ノ申立ヲ爲セリ

○同上三月十日

大飯郡内地形變動ノ實況ヲ踏査セシメシニ其大要左ノ如シ

地形 本村ノ地形タル海濱ヲ距ル八町許漸次傾斜ヲ爲シヲ距ル數町ノ上部ニシテ地勢南ニ開ケ其他ハ悉ク小山脈ヲ以テ圍繞セラレ南方東南方ハ共ニ久保谷案内ト稱スル二溪流ヲ通セリ而シテ地變ノ大部分ハ田畠殆ント相半シ東北ニ溢メル蛇谷山脈ノ山麓ニ沿フ未開地ノ如キモ多少此害ヲ被フレリ該山及其北方ノ山脈ハ殆ント無木地ナリ

土質 本村ノ位置ハ青葉山脈ニ連リ學理上ヨリ論スレハ全ク火山岩ノ地殼ニ屬スルヤ明ナリ然レバ地貌ノ大體ヲ觀察スルニ太古ハ全然深渓ノ形狀ヲ爲セシト雖モ幾多ノ星霜ヲ經ルト同時ニ種々ノ天變地異ニ遭遇シ終ニ今日ノ地層ヲ呈スルニ至リシナラン何トナレハ久保溪ノ一端ニ

突出セル數丈ノ斷層底部ヲ視ルニ有機物質ニ富メル粘土層露出シ尙ホ上部ニ位セル土層ハ總テ褐色粘土ナレハナリ夫ヨリ漸々上昇シ被害地全部ヲ見ルモ同種ノ地層ニシテ山麓ノ斷層面(凡ソ一丈許)ニ至レハ赤褐色ノ粘土曝露セリ由是觀之地下數十丈底部ニハ堅固ナル磐岩存在スヘケル凡上部ハ全ク柔軟ナル粘土層ヨリ構成セラル、モノ

ナリト謂フモ不可ナルヘシ

原因 前陳ノ如ク本地全體ハ南方ニ傾クト雖モ尙ホ二溪

流ニ面スル部ハ各之ニ直角ヲナシテ傾面ヲ有ス而シテ畠地ハ其上層稍乾燥スレニ現時水田ハ一面ニ水ヲ湛ヘ且ツ無數ノ龜裂中ニ水ノ滲透スルコト自在ナリ

元來本地ノ如キ地形ニ在リテハ四時間斷ナク高地ヨリ流下スル水若クハ雨水ノ地下ニ滲入スルヤ免カレス然レハ今回ノ地變タル真ニ地下水ノ作用ニ過キサルヘシ抑々水ノ地下ニ滲入スルヤ械器的及化學的ノ作用ニ由リ地盤ヲ潰爛シ或ハ地中ノ物質ヲ溶解シテ自然空洞ヲ生シ爲ニ地壓力ニ由リ上部ノ地盤陷落シテ山岳崩壊シ若クハ地震ヲ起スハ學理上ニ照シテ明ナリ然ルニ本地ノ如キハ鳴動震動其他顯著ノ徵候ハ毫モナクシテ日月ヲ逐フテ漸次ニ陥落シ尙全傾斜地ノ現況ヲ視察スルニ其基礎部ヨリ漸々溪流ニ向フテ押シ出シ此處ニ至リテ崩壊セリ此理由ニヨリ高處ヨリ中央部四近ノ地盤陷落スルヤ論ヲ俟タサルナリ

●霧島山鳴動

○鹿兒島測候所報

三月十一日午後六時二十分頃霧島山噴火鳴動セシヲ以テ所員ヲ派シ取調ヘシメシニ噴口位置ハ從來ト異ナラス燒石

數町ノ間ニ飛散シ震動時間凡ソ五分間許ニシテ附近ノ火山脈等ニハ異狀ナシ